

JAPANESE UTILITY MODEL UNEXAMINED PUBLICATION

(11) Publication number : 61-141253

(43) Date of publication of application : 01.09.1986

(51) Int.Cl. : B65D 75/26

77/22

(21) Application number : 60-22737

(22) Date of filing : 20.02.1985

(71) Applicant : FUJI SEAL INDUSTRIAL CO LTD

(72) Inventor : MASAAKI FUJIO

(54) ITEM PACKAGE BAG

**BEST AVAILABLE COPY**

# 公開実用 昭和61- 141253

⑨日本国特許庁(JP)

⑩実用新案出願公開

## ⑪公開実用新案公報(U)

昭61- 141253

⑥Int.Cl.<sup>4</sup>

B 65 D 75/26  
77/22

識別記号

庁内整理番号

6831-3E  
7123-3E

③公開 昭和61年(1986)9月1日

審査請求 未請求 (全頁)

④考案の名称 物品包装袋

⑤実願 昭60-22737

⑥出願 昭60(1985)2月20日

⑦考案者 藤尾正明 吹田市青山台3の15の8

⑧出願人 富士シール工業株式会社 大阪市鶴見区今津北5丁目3番18号

⑨代理人 弁理士 宮崎 新八郎



## 明細書

### 1. 考案の名称

物品包装袋

### 2. 実用新案登録請求の範囲

(1) ベースフィルムの裏面にシーラントが積層されてなるフィルムが折り返され、該フィルムの辺部が重ね合わせシールされてなる物品包装袋において、その重ね合わせシールされた部分には、前記ベースフィルムと前記シーラントとの間に、透明インキにて浮出し文字が描かれた透明インキ層と該透明インキ層を全面的に覆う着色インキ層とからなる印刷インキ層が形成されている物品包装袋。

### 3. 考案の詳細な説明

#### (産業上の利用分野)

本考案は、キャンデー等の飲食品や医薬品等、軽包装物品を収納するためのピロー袋に代表される物品包装袋に関する。

#### (従来の技術及びその問題点)

キャンデー等の物品を収納するための物品包装

483



袋としては、第5図に示す如きピロー袋が広く用いられている。

該ピロー袋は、ベースフィルムの裏面（後にピロー袋内面側となるべき面）にシーラントが積層されてなるフィルム(1')が折り返され、その折り返し線に平行な辺部(11')が重ね合わせシールされて筒状とされ、その中へ物品（図示せず）が収納された上で、その折り返し線と直交する両辺部(12')(12'')の両開口部が重ね合わせシールされたものである。

かかるピロー袋は、安全や衛生を確保するためにも、消費者の手に渡るまでの流通過程において確実な封緘状態が保たれなければならず、万が一にも、その封緘状態が解かれて人体に有害な物質が混入されるような事態が引き起こされてはならない。

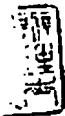
従って、かかるピロー袋の重ね合わせシール部は、加熱した上で押圧することにより、その接触部を熱融着させ、確実且つ強固にシールされている。

然るに、かかるピロー袋にて包装された包装体が消費者の手に渡り、消費者がピロー袋を引き裂いて内部の物品を取り出したい場合には、上述したように重ね合わせシール部が確實且つ強固にシールされていることが消費者にとって逆に都合の悪いこととなり、消費者はピロー袋を引き裂くのに極めて大きな力を加える必要が生じる。

そこで、ピロー袋を消費者が引き裂き易くするために、パートコート剤を用いることによって重ね合わせシールすべき部分を部分的に熱融着させたピロー袋、或いはその熱融着する部分の厚さを極力薄くしたピロー袋が用いられることが多い。

然るに、かかるピロー袋にて包装された包装体は、悪意者が該ピロー袋の重ね合わせシール部を注意深く剥がして開封し、内容物の改ざんを行った上で該重ね合わせシール部を注意深く再熱融着させると、元の未開封の状態と何ら区別が付かなくなるということも起こり得る。

本考案は、かかる事態が起こり得ないようなピロー袋を提供することを目的とする。



(問題点を解決するための手段)

かかる目的を達成するために創案された本考案の物品包装袋は、ベースフィルムの裏面にシーラントが積層されてなるフィルムが折り返され、該フィルムの辺部が重ね合わせシールされてなる物品包装袋において、その重ね合わせシールされた部分には、前記ベースフィルムと前記シーラントとの間に、透明インキにて浮出し文字（例えば、「開封済」等の文字）が描かれた透明インキ層と該透明インキ層を全面的に覆う着色インキ層とかなる印刷インキ層が形成されている点に特徴を有している。

なお、前記ベースフィルムとしては、二軸延伸ポリプロピレン、二軸延伸ナイロン、二軸延伸ポリエステル等の透明配向フィルムやセロハン等が用いられる。また、ポリエチレンテレフタレートとポリエチレンとアルミニウムとが積層された不透明なラミネート層も特別な機能を有したフィルムとして用いられる。

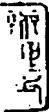
また、前記重ね合わせシールされた部分の袋内

側の形状をジグザグ状としておけば、ヒートシール部の裂け目（剥離界面）を規制することができる上、消費者が包装袋を引き裂きたいときに引き裂き易くて便利である。

〔作用〕

叙上の如き構成の物品包装袋にあっては、辺部が重ね合わせシールされて封緘状態にある場合、透明インキにて描かれた浮出し文字は、透明インキ層が全面的に着色インキ層にて覆われているため、全く認識することができないが、重ね合わせシールされた部分を引き裂こうとすると、その裂け目は最も強度の弱い印刷インキ層へ伝播し、前記浮出し文字が着色インキ層にて全面的に覆われない状態となるので、該浮出し文字が認識できるようになって前記物品包装袋が封緘状態から解かれたことが容易に判別できる。

しかも、引き裂かれた部分を再熱融着させようとしても、その裂け目は印刷インキ層へ伝播しているので熱融着され難く、たとえ熱融着されたとしても印刷インキ層を透明インキ層と着色インキ



層とが組合わさった元の状態に復元することは不可能であり、前記浮出し文字は消失せず、物品包装袋が封緘状態から解かれたことは容易に判別できる。

〔実施例〕

以下、本考案を添付図面を参照しながら具体的に説明する。

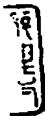
第1図は本考案の物品包装袋の一例たるピロー袋を示す斜視図であり、第2図は第1図のⅠ-Ⅱ線による断面図である。

図中、(1) はピロー袋を構成するフィルムであり、該フィルム(1) はセロハンや透明な二軸延伸フィルムからなるベースフィルム(11) の裏面（後にピロー袋の内面側となるべき面）に、ポリエチレン層（層厚：20～30 μm であって該層厚は後の引き裂き易さを考慮して通常のものより薄くされている）からなるシーラント(12) が積層されたものである。

該フィルム(1) は折り返され、その折り返し線に平行な辺部(13) が重ね合わせシールされて筒状

とされ、その中に物品（図示せず）が収納された上で、その折り返し線と直交する両辺部(14)(14)の両開口部が重ね合わせシールされて熱融着部(15)(15)が形成され、ピロー袋とされる。なお、両辺部(14)(14)の重ね合わせシールされた部分、即ち熱融着部(15)(15)の袋内側の平面形状は、第1図に示す如くジグザグ状とすることが好ましい。これは、ピロー袋の引き裂き易さと共に、裂け目（剥離界面）を後述する印刷インキ層(2)へ伝播させ易くすることを考慮したものである。また、該熱融着部(15)(15)はシーラント(12)自体が熱融着したものであり、その材質はシーラント(12)と変わることろがない。

更に、該ピロー袋の重ね合わせシールされた部分（前記辺部(13)(14)(14)に相当）には、前記ベースフィルム(11)と前記シーラント(12)との間に、夫々、透明インキにて浮出し文字（例えば、「開封済」等の文字）が描かれた透明インキ層(2a)と該透明インキ層(2a)を全面的に覆う着色インキ層(2b)とからなる印刷インキ層(2)が形成されてい



る。

かかる構成の物品包装袋にあっては、各辺部(13)(14)(14)が重ね合わせシールされてピロー袋が封緘されている場合、透明インキにて描かれた浮出し文字（透明インキ層(2a)の部分に相当）は、透明インキ層(2a)が全面的に着色インキ層(2b)にて覆われているため、ピロー袋の外からみても認識することができない。然るに、重ね合わせシールされた部分を引き裂こうとすると、その裂け目は第3図に例示するように、最も強度の弱い印刷インキ層(2)へ伝播し、前記浮出し文字が着色インキ層(2b)にて全面的に覆われない状態となるので、該浮出し文字が認識できるようになってピロー袋が封緘状態から解かれたことが容易に判別できるようになる。

しかも、引き裂かれた部分を再熱融着させようとしても、その裂け目は印刷インキ層(2)へ伝播しているので熱融着され難く、たとえ熱融着されたとしても印刷インキ層(2)を透明インキ層(2a)と着色インキ層(2b)とが組合わさった元の状態に

復元することは不可能であり、前記浮出し文字は消失せず、ピロー袋が封緘状態から解かれたことは容易に判別できる。

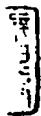
その結果、ピロー袋にて包装された包装体に対して悪意による内容物の改ざんを行うことを未然に防止することができる。

なお、前記ベースフィルム(11)には、種々の模様や商品名等が印刷表示されていても何ら差支えがない。

また、ピロー袋を構成するフィルム(1)のベースとなるベースフィルムとしては、前記ベースフィルム(11)に代え、第4図に示す如く、ポリエチレンテレフタレート層(10a)(層厚：約 $12\mu m$ )とポリエチレン層(10b)(層厚：約 $15\mu m$ )とアルミニウム層(10c)(層厚：約 $7\mu m$ )とが積層されたベースフィルム(10)を用いてもよい。

#### (考案の効果)

以上詳述したように、本考案の物品包装袋を用いる場合、該物品包装袋を重ね合わせシール部にて引き裂くと、「開封済」等の浮出し文字が現出



して該物品包装袋が封緘状態から解かれたことが判別でき、該物品包装袋にて包装された包装体の内容物の改ざんを未然に防止することができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の物品包装袋の一例たるピロー袋を示す斜視図、第2図は第1図のⅡ-Ⅱ線による断面図、第3図は該ピロー袋を引き裂いた状態を示す断面図、第4図は本考案の他の実施例を示す断面図、第5図は従来の物品包装袋を示す斜視図である。

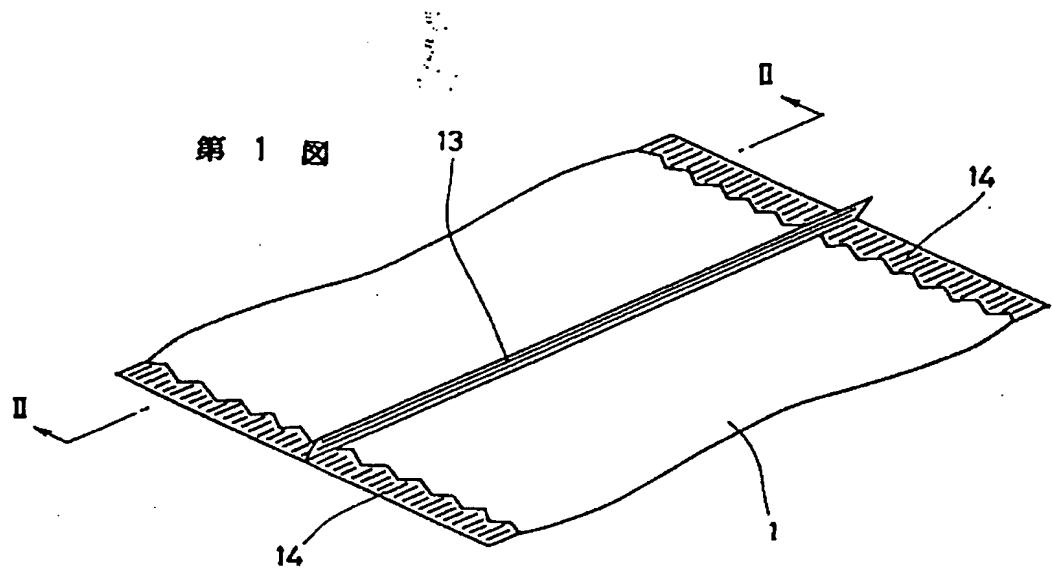
1：フィルム、11、11'：ベースフィルム、  
12：シーラント、2：印刷インキ層、2a：透明インキ層、2b：着色インキ層。

代理人 弁理士 宮崎新八郎

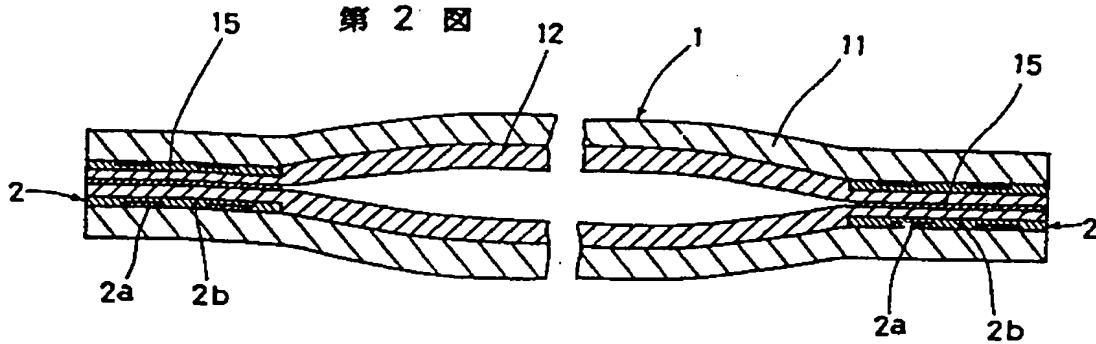
492

特許出願

第1図



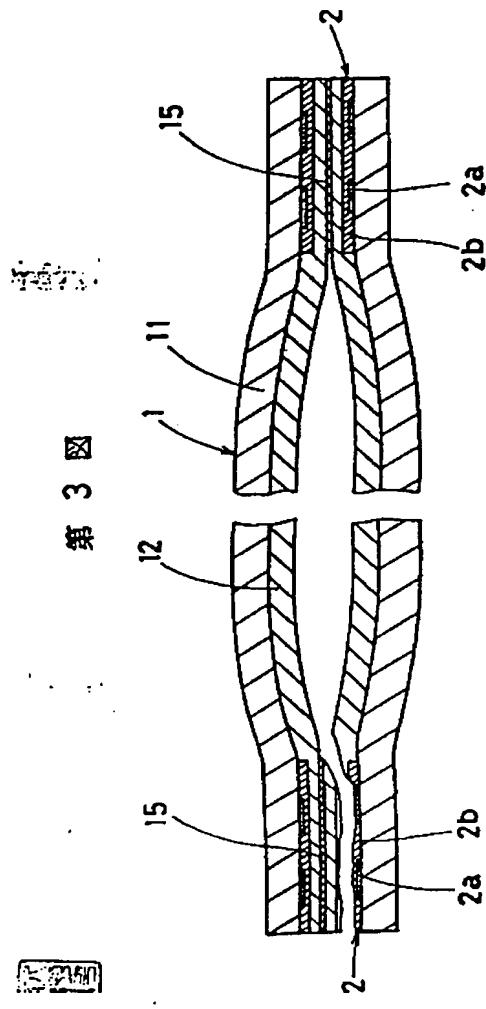
第2図



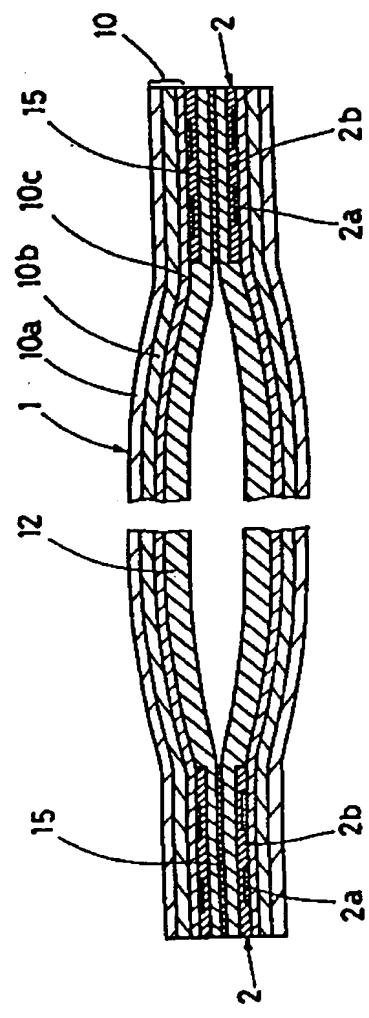
493

実用61-141253

第3図



第4図

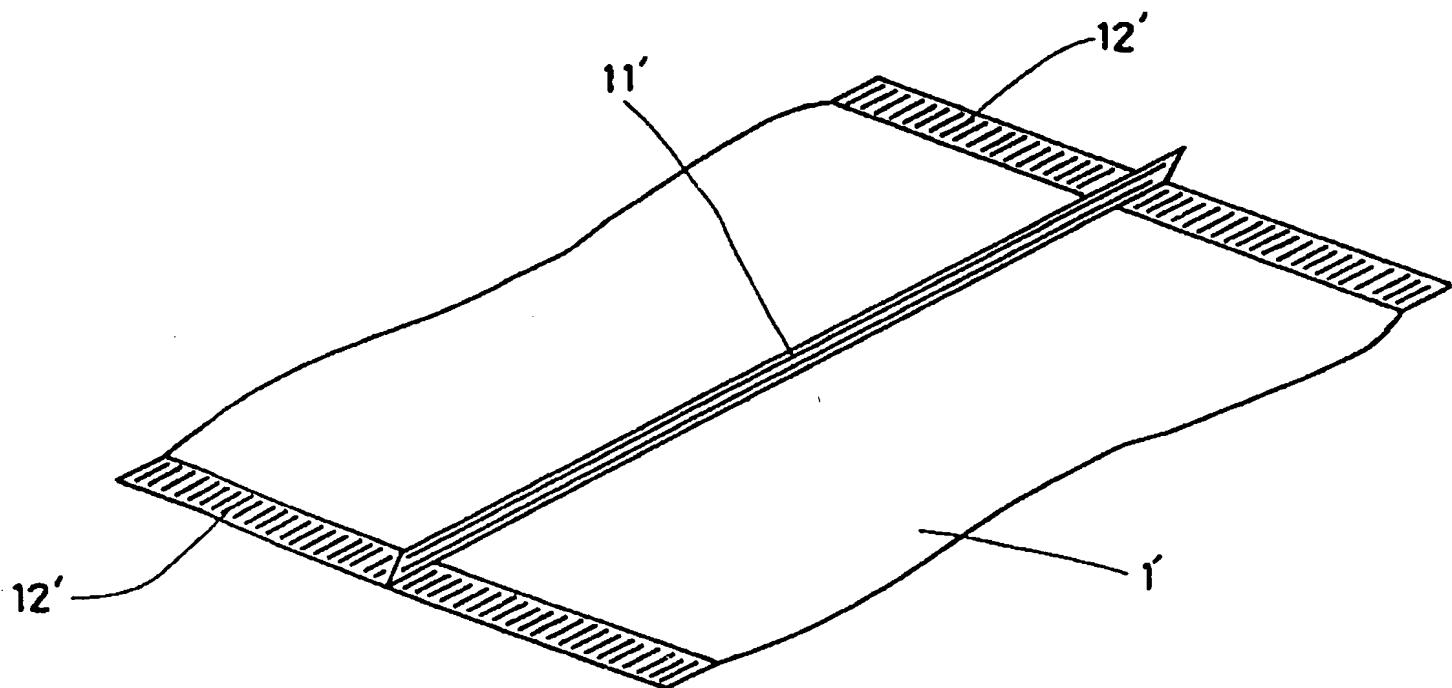


代理人 幸運士 寶城新八郎

AIA

実用61-141253

第5図



495

実開61-141253

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record.**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**